

# 『住んでよし、訪れてよし』の持続可能都市京都を支える人材育成に関する研究 ～京都すばる高校：みんなごと化プロジェクト～

## 【研究開発の背景】

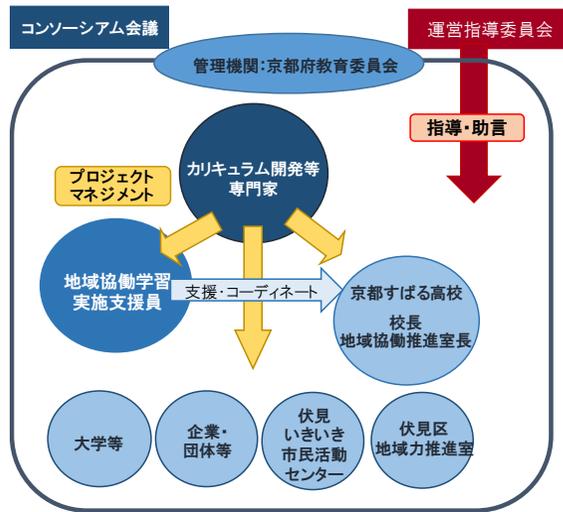
### ○ 京都の課題

- ① 少子高齢化
- ② コロナ禍における訪日外国人の消滅（課題の変化）  
⇒ 観光産業への過去にない大きな打撃（変化への対応）
- ③ 地域に根ざした観光人材の不足



- このプロジェクトで育てたい人物像  
ビジネスの視点から、京都の課題を発見できる人  
⇒ 発見した課題を「じぶんごと」としてとらえ、考えられる人  
⇒ 多様な価値観や背景を持つ人・立場の異なる人を巻きこんで「みんなごと」としてとらえ、新しい成果を出せる人
- 育成したい資質・能力  
当事者意識・探究力・論理的思考力・協働力

## 【実施体制】



＜校内組織＞	
研究担当者会議 （月1回） 室長・学科長・ 授業担当者等	研究推進委員会 （年3回） 管理職・室長・ 部長・学科長等

## 【令和2年度の目標】

- 「じぶんごと化」から「みんなごと化」へ向けて学校設定科目（起業マネジメント・グローバルビジネス）を活用する
- 社会課題への気づきによるじぶんごと化
- 課題解決型授業による探究力、論理的思考力の育成
- 多様な他者と課題を共有し、議論することによる協働する力の育成
- 学校とコンソーシアムとの育成したい生徒像の共有

## 【主な取組事例】

### 起業創造科（起業マネジメント）

- 地域学の学び
- 社会課題解決「TOKYO STARTUP GATEWAY 2020」
- 企業内起業プロジェクト
- 「カッコいい大人」講演会



向島賑わいづくりプロジェクト



京都の中小企業商いリサーチⅡ

### 企画科（グローバルビジネス）

- 観光学、観光英語の学び
- 社会課題解決「40億人のためのビジネスアイデアコンテスト」
- アフリカと向島地域をつなぐ「じぶんごと化プロジェクトⅡ」
- 青年海外協力隊員による講演会



グラフィックレコーディング実習



じぶんごと化プロジェクトⅡ

## 【成果と課題】

### 1 成果

- ① 地域協働学習実施支援員の活躍  
（年間70回以上来校し、学校と地域をつなぐ）
- ② 新学科学校設定科目の活用  
（起業マネジメント・グローバルビジネス）
- ③ じぶんごと化  
（「地域の諸課題に当事者意識を持った」生徒が81.5%）



本事業による学びの魅力について、生徒が自由に議論した内容を記録・表現した図

### 2 課題

- ① みんなごと化  
（「周囲を巻き込み、チームで協働できる」生徒はまだ66.7%）
- ② 新学科課題研究の活用  
（新たに18グループで探究活動を開始）
- ③ 事業終了後を見据えた動き  
（地域公共政策士高校生版の資格創設など）

「みんなごと化」へ向けて  
新・課題研究の活用